

事業者向け

児童発達支援自己評価表の集計結果(公表)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員10名に対し、 指導訓練室が40㎡以上確保できているか	80%	20%		確保できている。可能な限り屋外に出かけ、指導訓練室のみで過ごさないよう配慮している。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			基準以上の配置をしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、こどもが怪我をしないような配慮や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%			
	5	設備等へ安全を配慮した措置がなされているか？（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収材の取付・階段手摺など）	60%	40%		運動用具の配置場所が心配。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	80%	20%		日々の療育の中で気付いた点などは共有し、次に活かしている。
	7	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	80%	20%		昨年度よりアンケートを実施し改善につなげている。
	8	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			今年度より実施する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	80%	20%		月に一度の運動研修の機会を設けている。また、資格取得にも積極的に取り組んでいる。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			6ヶ月ごとに、保護者面談を実施し、計画書を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80%	20%		アセスメントシートの改善と更新が必要
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の発達支援（本人支援及び移行支援）、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	100%			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%			

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	80%	20%		
	15	活動場面ごとに課題を決め支援しているか	100%			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%			
	17	支援開始前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	80%	20%		担当割を明確にしている。利用者の状況を把握し、流れや緊急対応について確認している。
	18	支援終了後には、職員間で打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか	80%	20%		子どもの把握や療育の振り返りを行い、全員が周知している。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	80%	20%		個別支援記録を欠かさず記録している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			6ヶ月ごとにモニタリングを実施している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	60%	20%		
	23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	40%	60%		現在該当児童はいないが、契約時に細かく緊急連絡先を聞いている。
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等の中で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	40%	60%		今後ペアレント・トレーニング研修を受講していきたい。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時には分かりやすい説明を心掛けている。
	29	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			

保護者への説明責任等	31	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	80%	20%		毎日のブログを更新している。本部からの会報誌の配布も行っている。
	33	個人情報に十分注意しているか	80%	20%		鍵付きの書庫にて書類管理を徹底している。
	34	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			100%	招待したことがないが、公園などで周囲の方に積極的に挨拶している。
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	80%	20%		緊急避難に際しては、引渡しリストを保護者様に提出していただいている。感染症においては、治癒証明書もしくは登校許可書を提出していただいている。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			
	38	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等こどもの状況を確認しているか	100%			
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	80%	20%		内部研修と外部研修に積極的に取り組んでいる。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、サービス計画に記載しているか	100%			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	80%	20%		保護者様の指示、対応を反映している。
	42	ヒヤリハット記録を作成して事業所内で共有しているか	100%			